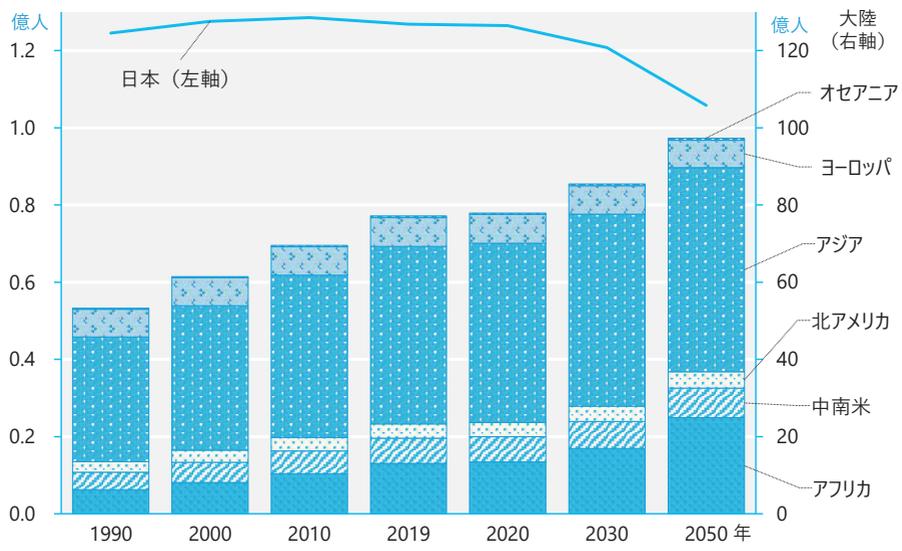


## 2-1 世界、大陸及び主要地域の人口



関連表 p.65 「第2-1表 総人口」

国連が隔年ベースで公表する『世界人口予測』の2019年改訂版(本書の資料出所)によると、世界人口は1950年代以降のどの時点よりもペースが鈍化してはいるものの、継続的に成長しており、1994年から2019年半ばまでで20億人増加して77億人に達した。中位推計では、2030年に85億人、2050年には97億人に増加すると予測されている。

今後、2050年までに増加が見込まれる20億215万人のうち、6割弱(58.4%)に相当する11億8121万人はアフリカで、また34.1%(6億8889万人)はアジアで、それぞれ生じるとみられる。対照的に、中南米(1億1431万人、5.7%)や北アメリカ(5860万人、2.9%)、オセアニア(1525万人、0.8%)では人口増加は低位にとどまり、またヨーロッパでは、3669万人(1.8%)の人口減少が予測されている。

同様に、日本でも人口の減少が進行するとみられており、2019年の1億2686万人から、2030年には1億2076万人、さらに2050年には1億580万人となると推計されている。